

# 森林ガイド事業を通じた国有林のPRについて

本荘営林署 ○ 佐藤 吉則  
柏木 梢

## 1 はじめに

近年、国民のアウトドアライフ志向の高まりとともに自然の山野におけるレクリエーション活動が活発化しています。

その活動の形態も自然探勝、野外スポーツ等から森林の機能に着目した保健医療、文化教育等を目的としたものまで多様化の一途をたどっています。

この様な状況の中で、国有林野事業としては、国有林野を森林レクリエーション資源として提供してきているとともに、森林利用ガイド事業等を通じて、我々の有している知識、技術を提供することにより地域社会及び森林レクリエーション利用者の国有林に関する一層の理解を得るよう努めてきています。

また今回の国有林野の改革により、この分野は更に重要性を増していくことと感じています。

当署でも地域住民の森林に対する多様な要請に応え、森林に対する理解を深め、関心を高めてもらうための一環として平成3年度より森林利用ガイド事業に取り組んできました。

今年度の実施に伴い、近年の問題点を踏まえ工夫を凝らして事業の実施をしたとともに、今後のあり方等を検討するためアンケートを実施したのでその結果を含め当署としての取り組みを紹介します。

## 2 事業の実施

### (1)実施したガイド事業の概要

#### ・概要

国有林森林浴ツアー

「あがりこ大王と天然記念物獅子が鼻ムラサキヒシャクゴケの観察等」

実施日 平成10年10月31日 (土曜日)

対象地 鳥海山中島岱自然休養林

定員 27名

持ち物 昼食

参加費用 2,500円

輸送手段 営林署より現地まで往復のバス(定員27名)を使用

実施前に考えられた問題点

- ・定員の参加者を確保すること
- ・参加者に説明内容を理解してもらうこと
- ・国有林について理解を深めてもらうこと

## 企画段階

### 検討

- ・ 広く地域の住民に行事の内容が周知されるようにすること
- ・ 当署のガイド事業に独自性を出し参加意欲を喚起すること

### 工夫

- ・ 新聞、市町村広報誌を活用する
- ・ 今年度新聞等で度々取り上げられた地域を事業の対象地とする
- ・ 通常のルートを周遊するだけでは見れないものを目玉としかつ参加者が無理なく走破できるルートを設定する

## 事業実施段階

### 検討

- ・ 参加者が出来る限り理解しやすい内容とすること
- ・ 説明者の説明が出来るだけ参加者全員に伝わるようにすること
- ・ 国有林のガイド事業であるから実施できる内容であることをアピールすること
- ・ 参加者全員が事故なく参加できるように職員を配置すること

### 工夫

- ・ 専門用語を出来るだけ使用せず、判りやすい言葉で説明する
- ・ 参加者が興味を持続出来るようにルート上にある様々な事物（熊の爪痕など）を話題に取り上げる
- ・ 参加者を説明者の説明が聞き取れる範囲に集める
- ・ 国有林野の紹介とともに通常のルートを周遊しては分からないことを強調する
- ・ グループの最後尾に必ず職員を配置する

## (2)アンケートの実施

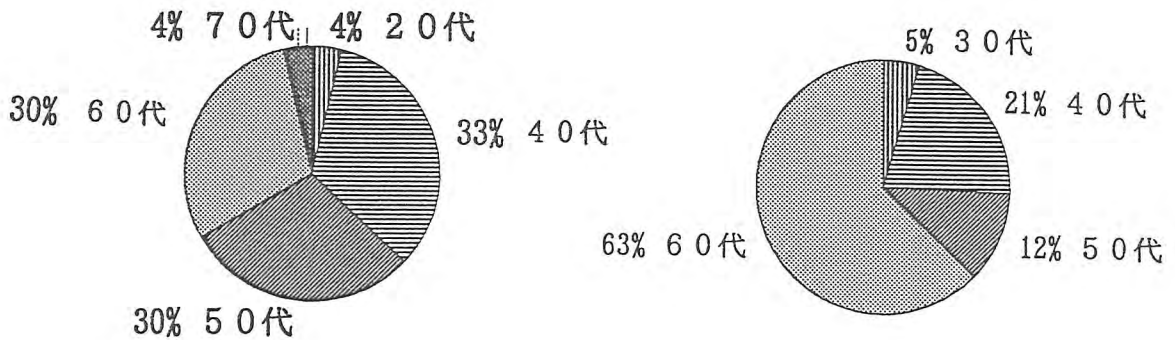
### ・ アンケートの概要

実施対象	ガイド事業参加者	27名
アンケートの項目数	26項目	
	選択式	21項目
	記述式	5項目
回収率	78%	

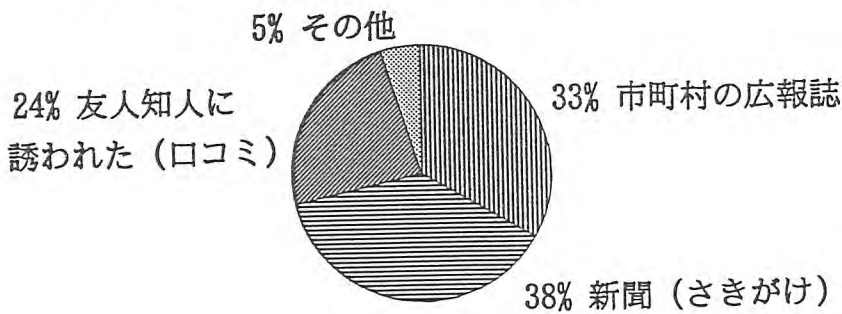
(3)アンケートの結果の概要

アンケートについては全体で26項目であるが、主な9項目については以下のとおり。

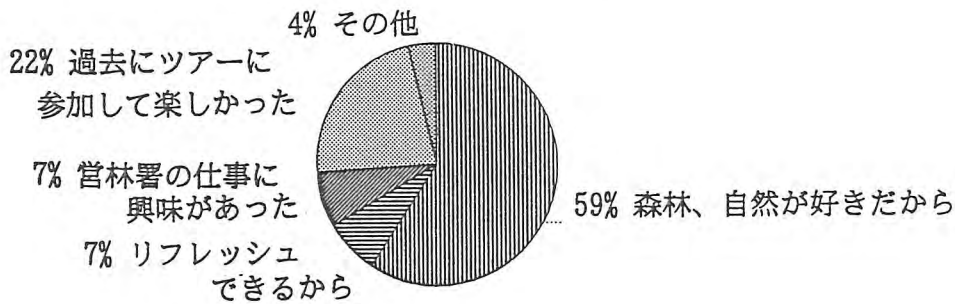
Q1 参加者の年齢構成



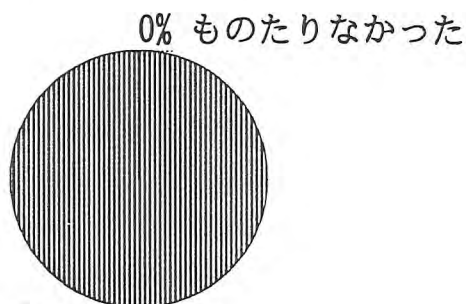
Q2 今回のイベントを何で知りましたか



Q4 今回のイベントに参加した動機について



Q6 今回のイベントに参加した感想は



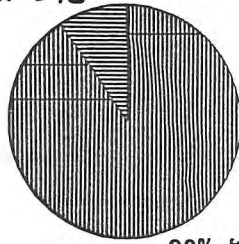
- 1 個人では、なかなか行くことが出来ない場所に案内して頂き、大変満足している。
- 2 豊かな大自然を知ることができ感動している。
- 3 職員の対応・説明により良く理解できた。
- 4 他の観察会と比べて色々散策できて参加して良かった。
- 5 現地に行くまでは、歩き通せるか心配だったが、時間的・距離的に満足しています。

100% 良かったと思う

Q17 営林署に対する印象として

【存在】

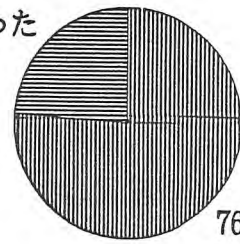
10% 知らなかった



90% 知っていた

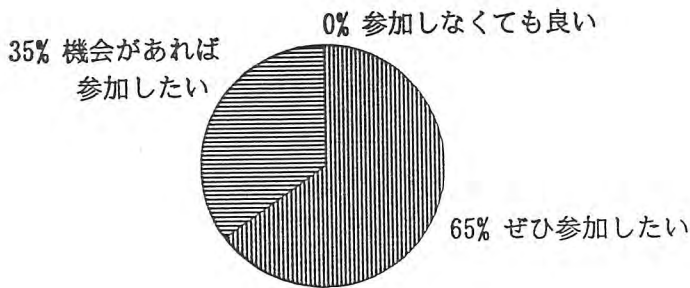
【仕事】

24% 知らなかった

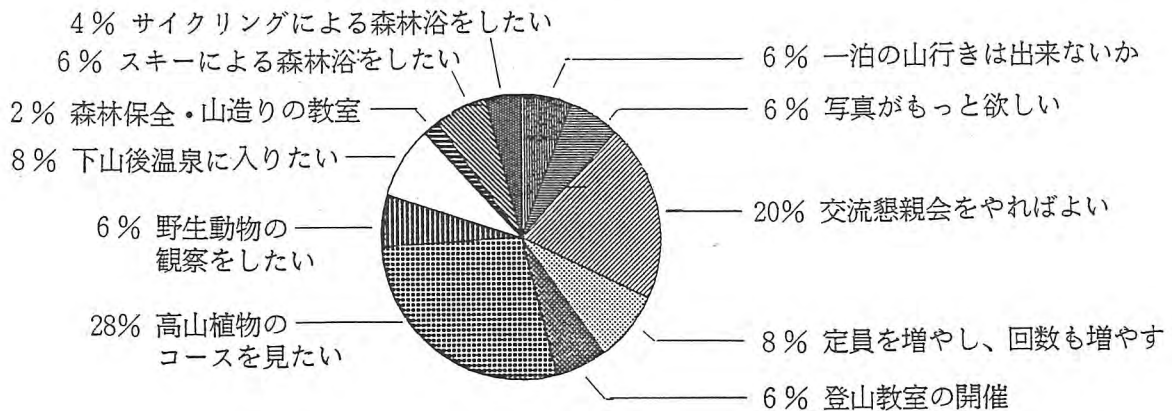


76% 知っていた

Q18 今後もこのようなイベントに参加したいか



Q19 今後のガイド事業に望むことは



Q25 営林署に対する要望、意見等

ここでも、かなり意見はありましたが、簡単に下記のとおり列挙してみました。

- ・山の自然環境が何世紀も持続できるよう努めてほしい。
- ・世界的にも森林伐採がなされ、自然保護、人の住む環境のため植林が必要と思う。
- ・国土保全機能の充実。
- ・林道等の道路整備。

等、自然環境を後世まで残し、自然のままの現地を案内してもらいたい

### 3 考察

#### (1)事業結果についての考察

##### ・事業の実施について

森林ガイド事業の結果としては、定員一杯の27名の参加があり、募集の段階では応募が集中し、十数名の希望者を残念ながら断ることとなりました。

当日は曇天ではあったものの応募者全員が参加し、案内ルートを走破した時にも1名の落伍者もなく、また途中での事業に対する苦情もなく無事終了しました。

事業が成功した要因としては、事業実施の項で記述したような実施前の段階での十分な検討と実施段階での参加者の状況を把握しながらの無理のない様に参加職員が十分に気配りをした運営が良かったと考えています。

また、同じ十月期に地方自治体等において同様の地域を対象として普及等を趣旨とした同様な事業が3事業実施されましたが、その中では募集定員に対し参加率も良くフィールドを所有している営林署としては面目を保ったと言えます。

##### ・アンケートの結果について

森林ガイド事業については、他署などでも多く実施されている状況であり、関連する報告も多くありますが、今回の調査結果についてみますと、その全体的な傾向は、平成3年度の調査結果や他署での報告と変わらないと言えます。

参加者は中高年層が多くを占めている状況であり、平成3年度の調査の結果と傾向は変わらず、この年齢層において継続的に希望が多いと考えられます。

このため、今後ますます人口割合が増加する中高年層に主な対象を絞れば、さらに大きく事業が展開する可能性があります。

さらに当署でのアンケート調査の結果や他署等での実施結果をみれば一般市民に好感を持って受け入れられているものの国有林野や営林署に対する理解は十分とは言えず、また期待されている方向性は森林の保全管理に向いていると考えられます。

#### 今回のアンケート結果の問題点

参加者による年齢的な偏りのため、地域の全ての年齢層を網羅した傾向等が読みとれません。

ガイド事業参加者を対象としているため、アンケート数が少ないこと、比較的営林署に対し好意的な意見が集約されます。

#### (2)今後の事業の実施について

##### ・事業の具体的な実施

ガイド事業の実施段階では以下のような点に留意する必要があると考えられます。

##### 企画段階での留意事項

- ・地域の住民に事業の内容が十分に周知されるような広報の方法を採ること
- ・国有林の事業に参加したいというセールスポイントを作ること

#### 実施段階での留意事項

- ・参加者に参加した行事の内容が強く印象として残るようにすること
- ・事業の実施中に参加者が飽きないようにすること
- ・自然環境の問題など参加者の興味のある内容を提供すること
- ・説明者による説明内容の出来不出来がないように自己の能力を一定水準まで達するよう努めること

#### ・今後への取り組み

今後有効に森林ガイド事業を行い、国有林のPRを行っていくためには以下のような事が重要となると考えています。

- ・今後の国有林野事業の中での位置づけ  
森林ガイド事業のような普及啓発のための事業にどのようなウエイトで取り組むのかの明確化
- ・森林ガイド事業の差別化  
国有林でしかできない事業を行うこと、差別化を図れる分野、事項の把握  
参加対象者を絞り込み事業の目的を明確化する
- ・他団体との共同開催  
目的を同じくする地方公共団体の事業やN G O等との協力関係の確立と活動区域としての国有林野の提供の可能性の模索
- ・よりの確なニーズの把握  
地域全体の的確な動向を把握するための定期的、継続的な調査の実施

#### 4 おわりに

今回は「森林ガイド事業を通じた国有林のPRについて」というテーマで、当署の工夫やアンケートの結果を基に考察をまとめました。

国有林を知ってもらうためには、まず国有林との接点を作ってもらうこと、林業関係者は別にして一般の地域の住民との接点としては森林ガイド事業は有効な一方法があります。

しかし、住民の参加がなければ意味をなさないものであり、そのためにガイド事業に参加してもらうためにはどうすればよいかということが重要な意味を持つてくると考えています。

より具体的な国有林のPRとそのための事業内容とを検討するには至りませんでした。今後も地域での森林ガイド事業の実施を続け国有林のPRを図るとともにそのあり方を検討をしていきたいと考えています。